

## 夏の庭

庭いじりに  
はまりこんだキツカケは  
妻への手伝いからだった。

## 50才からのワクワク時代

雑木だらけの裏庭のリメイクの  
為、請われるままに樹木を引っこ  
抜き、枕木デッキとやらを作って  
みた。一昨年の夏の事だった。

首と頭にタオルを巻いて、汗と  
土にまみれての土木作業が始まった。  
最初は仕方なく始めたが、いつの  
間にか夢中になっている自分が居  
た。今ある空間を解体して、そこ  
に新たな空間を創り出す。そんな  
汗まみれになって夢中でいられる  
時間と空間が、妙に心地よかった。  
この感覚ってなんだろう？そう、  
自然の中で日の暮れるのも忘れて  
夢中で遊び惚けていた少年時代、

その遊びの先に、見えてくる未知  
なるものへのワクワク感が、そこ  
にあった。

庭のひとつのコーナーを仕上げ  
ると、今度は手つかずに残った部  
分が気になってくる。こうして、  
荒れ庭のリフォームが延々と続く。  
電信柱のトランスの固定に使われ  
お役ご免になった「腕木」を知り  
合いの回収業者から大量に手に入  
れ、「尾瀬の小道」風？に庭を回  
廊する腕木の小径を造った。  
腕木を敷いて固定する為に、土を  
掘り下げると思いがけない難敵が  
次から次と土の中から登場してく

る。大きな石や近くの樹木の頑強  
な根っこ等々。

汗まみれ、泥まみれの格闘が続  
き、やがてイメージ以上に仕上げ  
った「腕木の小径」が出現してく  
る。思わずニヤリ！

この瞬間がたまらない。さて、  
次はどこにとりかかろうか？  
これって、50才ヤジの自分への  
冒険心の成せる技かな？  
庭いじりに浸れば浸るほど、そ  
の先に見えてくる物が楽しみに  
なってくる。

今、ワクワクしながら50才か  
らの少年時代を楽しんでいる。



<http://www.cna.ne.jp/~ryo-miya>

